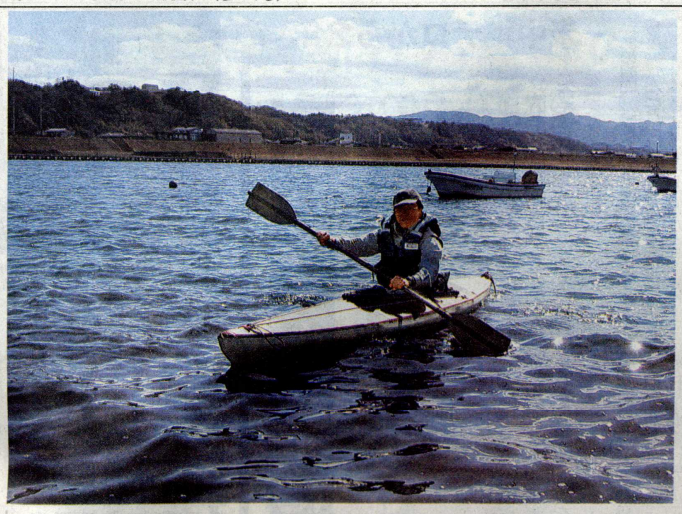
県沿岸1周 カヌーの旅

（随時掲載）

今回は杵築市の海岸を北から南西にかけて巡るという約18キロのコースを紹介する。



カヌーで杵築市沿岸を南下するアウトランドカヌー部員

行く季節 風景味わう

杵築・奈多海岸～日出・糸ケ浜

せみしぐれと入道雲

アウトランドカヌー部のK氏と2人で「奈多海岸」キャンプ場を午前9時半に出発。海から見る奈多八幡社の鳥居もまた乙なものだ。その後ろに電波塔を頂いた見立山がはっきりと見える。天気は快晴、波と風は穏やか。残念ながらこの辺りの海の透明度はもう一歩といったところだ。

約8分で狩宿海岸へ。ところで、砂浜から海に出る時は、カヌーを波に直角に向け、体の重心を落とし、揺らさず、素早く乗り込むことが肝心だ。足が多少ぬれるのは仕方ない。左側には消波ブロック。右側には松林がそれぞれ延々と連なっている。約6分後、右に大熊山が見えてきた。そ長い半島が見えてきた。れにしても暑い！ 時々海水を手や足に掛けて涼をとる。

約18分で臼石鼻の白灯台を通過。ここからルートは急に西に変わる。この辺りは隠れ岩があるので注意。いつも思うのだが、岬近辺は波が不均一でとてもこぎにくい。慎重に波を見極める必要がある。約12分後、漁船に

気を付けながら一気に美濃崎の港へ。住吉浜の細のは高須下の岬。潮流に流されたらしい。ここからは横波に変わり、波に神経を使うことになる。カヌーは横波にとても弱い。

約28分後、権現鼻通過。約10分後、三軒屋下の岬を通過。波によって浸食された海岸洞穴が見事な入道雲。晩夏の風景だ。さらに約15分後、「やっと」といった感じで加貴鼻へ。ようやく波も穏やかになり、ホッとした。

たが、約25分後に着いた

岸の浪崎神社下の岬だ。西に変え、守江湾を一気に横断する。目指すは対正面には杵築市街地が一望だ。

小休止後、進路を西南

水浴客でにぎわっている。約30分で赤灯台着。

ヤノンの白い工場群が現れる。約23分後、日出町＝

かが、ぽっかりと浮かぶ沖には養殖の手入れをする漁船が数隻。のどかな風景だ。しだいに風は追い風となってきた。しめたノ。ラストスパートを出迎えてくれた。＝アウかける。約10分で右にキ

先の赤灯台を目指し一気にこぐ。遠浅の海岸は海

の賽殖の立てくいに気を使いながら、住吉浜半島

だ。ここからはたくさん

との市町境を越える。大岩に大しめ縄がある。

こぎ始めてから約3時間25分で、日出町糸ケ浜海岸着。数羽のカモメが

（大分市）

旅 Travel

あの町 こんな思い出

勇壮な小倉祇園

北九州市の「わっしょい百万夏まつり」を見るために8月2日、同市小倉北区の市役所前小文字通りに設けられた観覧座席に座った。

今年は市制施行40周年。オープニングパレードは九州と山口各県の宣伝隊の行進。各企業のマーチング隊や踊りなどが続き、西鉄グループの花電車で締めくくり。

引き続き、旧5市の「門司大里電照山笠」「小倉祇園太鼓」「戸畑祇園大山笠」「黒崎祇園山笠」「若松五平太ばやし」が登場。計24基の山笠や山

安達　宗城（大分市）

風景や音、食事、行事…おすすめ"奈良の朝"募集

奈良県観光連盟は、風景や音、食事、行事など、他人に薦めたいと思う「奈良の朝」を募集している。応募作から「"奈良の朝"ベスト50」を選んで発表し、5組（10人）に県内のホテル・旅館宿泊券、90人に奈良の特産品をプレゼントする。

場所（所在地、施設名、行催事名など）、季節、どんな状況で体験できるか、薦める理由、自分自身の思い出・エピソードと、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、ファクス番号をはがきに書き、郵便番号630－8213、奈良市登大路町38の1、奈良県中小企業会館2階、奈良県観光連盟「私のおすすめ"奈良の朝"係」まで送る。

ファクスでの応募は0742（23）8289へ。ホームページ（http://www.nara-kankoukor.jp）からも応募できる。いずれも締め切りは12月26日（消印）。問い合わせは奈良県観光連盟、電話0742・23・8288。